

## ◆「第33回 技能グランプリ」結果報告

### 建築大工職種でJBN会員が上位入賞

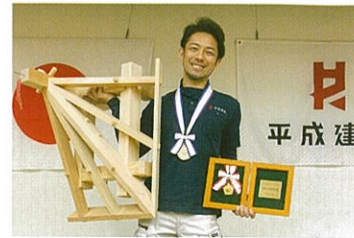
全国の熟練技能者が技能の日本一を競う「第33回技能グランプリ(30職種)」が2026年2月27日～3月2日、インテックス大阪(大阪市)などで開催されました。技能グランプリは、1級級技能士などの一層の技能向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的として実施する大会で、厚生労働省および中央職業能力開発協会が主催しています。

建築大工職種には、全国から37名の選手がエントリーし、大会当日は35名の選手が2日間の競技に臨みました。JBN会員工務店からは7名が出場し、日頃から積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮しました。

なお、技能グランプリは隔年で開催されており、次回は令和9年度に東京都で開催される予定です。興味がある大工の方は、ぜひ出場をご検討ください!

2日間にわたる熱戦の結果、以下のJBN会員工務店の方々が入賞されました。

- 金賞：原田 宗広(平成建設/静岡県)
- 銀賞：伊藤 誠(伊藤技建/島根県)
- 銅賞：甲斐 誠士(誠建築/宮崎県)
- 銅賞：渡邊 唯希(平成建設/神奈川県)
- 敢闘賞：樺沢 友紀(平成建設/神奈川県)



▶金賞 原田選手

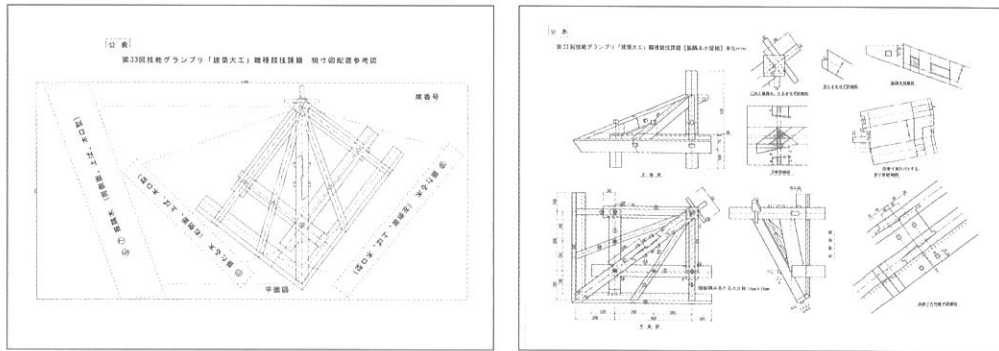
### ■技能グランプリ「建築大工」職種競技課題

本課題は、地の間3対4に隅木を掛けた課題である。

次の概要および仕様に従って、課題図に示す「振隅木小屋組」を制作しなさい。

#### 【概要】

桁3対4に梁および登り梁で柱を立て、追掛け大柱継ぎで組んだ振隅木を取り付け、平たる木、振たる木および鼻隠しを取り付けた小屋組みである。各取り合いはほぞ差しとし、振隅木および各たる木は栓止めで組み立てて完成させる。なお、屋根勾配は⑩平たる木勾配(当日公表)を基準とする。



#### 【競技時間】

12時間(2日間)

### 刊行物のご案内 (刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。)



マナーアップハンドブック  
【工事現場編】

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣への挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介します。



中大規模施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ (正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および資料がご覧いただけます。)

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまなご相談(技術、法律、支援等)をお受けしております。

ホームページ(トップページの最下欄)のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階

Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp

# JBN REPORT

全国工務店協会

4月号

Vol.114  
2026



## ◆第19期 事業計画

年次テーマ 技術は裏切らない。信頼は逃げない。脱炭素は地域の未来をつくる。

### 1 技術力 省エネ義務化の先へ、ZEH基準を「当たり前」に

2025年の省エネ義務化を経て、2026年現在は「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)水準」が、もはや差別化要素ではなく、最低限基準となりました。

課題 2025年4月の建築基準法改正(新構造基準への完全移行)への対応。

行動 単なる数値のクリアにとどまらず、BIMや省エネ計算の内製化を推進し、設計精度を高める。また、木造非住宅建築にも対応できる技術力を養い、地域の公共・商業施設の木質化をリードします。

### 2 脱炭素 GX(グリーントランスフォーメーション)の旗手として

「脱炭素」はコストではなく、地域の資産価値を守るための投資です。

課題 資材高騰による建築費上昇と、施主の光熱費負担軽減の両立。

行動 補助金(みらいエコ住宅事業等)を戦略的に活用し、GX志向型住宅を提案。LCCM(ライフサイクル・カーボン・マイナス)住宅への挑戦や、地域材の積極採用を通じて、建築プロセス全体のCO2削減を図ります。

### 3 地域の信頼 「見える化」による圧倒的な安心感

SNSでの情報収集が標準となった今、信頼は「施工中」のプロセスを見せることで醸成されます。

課題 大手ハウスメーカーとの性能競争と、職人不足による品質維持への不安。

行動 インスタグラムやYouTubeを活用し、現場の裏側(職人の技や断熱施工の様子)をリアルタイムに発信。「何を建てるか」以上に「誰がどう建てるか」を可視化し、地域に根差した「顔の見える家づくり」を徹底します。

### 4 経営の進化 建築DXによる「持続可能な工務店」へ

地域工務店として「妥協を許さないプロフェッショナリズム」に甘んじることなく、デジタル技術を道具として使いこなす姿勢が不可欠です。

課題 生産性の向上と、若手技術者の確保・育成。

行動 現場管理アプリやクラウドでの図面共有による建築DXを加速。事務作業を効率化し、その分で生まれた時間を「住まい手との対話」や「デザインの深化」に充てることで、地域工務店ならではの付加価値を最大化します。

## ■研修会の実施について

### 次世代型工務店への進化を支える「実践研修プログラム」

2026年度の研修事業は、改正法施行から1年が経過した現場の「リアルな課題」と、会員の皆様から寄せられた「新たなニーズ」を最優先に反映させ、開催いたします。

研修会の詳細は中面へ >>>

## ◆第19期 事業計画

### 国の施策を基に、工務店の進むべき道を探る研修会

#### ○JBN脱炭素社会に向けたロードマップに準拠した研修会【継続】

改定した2025年・2050年に向けて、地域工務店が取り組むべき目標を掲げたロードマップに準拠した関連研修会を開催します。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○カーボンニュートラルに向けた研修会【継続】

JBN脱炭素社会に向けたロードマップにおけるカーボンニュートラルの実現に向けて、LCCM住宅のあり方や、J-CATやCASBEEなど、炭素の可視化に向けた研修会を開催します。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○建設DX・デジタル化に向けた研修会【継続】

BIMを活用した確認申請が始まり、業界のデジタル化が加速しています。生産性向上や業務効率化を実現するためには、DXの理解と導入が不可欠です。BIMの現状を把握しつつ、デジタルツールを活用した業務効率につながる研修会を開催します。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○改正建設業法および入札契約適正化法に関する研修会【新規】

2025年12月に施行された本改正は、建設業界全体の「働く環境」と「取引の適正化」を大きく変える内容です。「労務費の適正化」「価格転嫁」「働き方改革」に対応するためのセミナー開催し、パンフレットの作成を行います。開催形式：Web開催（Zoom）

### 営業力強化のための研修会

#### ○受注力向上セミナー【継続】

住宅価格高騰の影響による集客減により、新築の受注が減少しています。その対策として、新築およびリフォーム・リノベーションの受注増加を図るため、地域工務店が取り組むべき営業方法の実例を学ぶ研修会を開催します。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○経営力向上セミナー【継続】

会員企業が抱えるさまざまな経営課題について、課題別にテーマを定め、先行事例を含めた研修会を開催します。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○耐震・断熱省エネリフォーム・リノベーションの受注促進に関する研修会【継続】

耐震および断熱省エネリフォームでは、それぞれ営業方法が異なるため、工務店の営業力・提案力を強化する実践的な手法を学びます。必要性を的確に伝え、顧客の関心を引く提案方法や補助金活用の提案術などを学ぶ研修会を実施します。開催形式：対面開催/Web開催（Zoom）/eラーニング

### 設計力強化のための研修会

#### ○2030年の断熱等級6+αに対応するための省エネ研修会【継続】

JBN脱炭素社会に向けたロードマップに掲げる2030年新築住宅の標準を断熱等級6とする講習会を開催。さらに断熱等級7も見据え、最先端の技術や補助制度を学び、持続可能な家づくりを実践する研修会を開催します。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○壁量計算・N値計算・許容応力度計算を学ぶ研修会【継続】

改正建築基準法に対応し、木造住宅における基礎構造計画や壁量計算・N値計算、許容応力度計算などを学ぶ研修会を開催します。また、自社での構造計算ソフトの利用技術習得に向けた研修会も開催します。開催形式：対面/Web開催（Zoom）

#### ○木造軸組工法による省令準耐火JBN仕様認定利用講習会【継続】

WEB動画研修を実施します。（JBNホームページより常時受講可能）

#### ○木造軸組準耐火構造大臣認定利用講習会【継続】

45分/60分板張外壁・間仕切壁認定講習会です。（WEB動画研修会により常時受講が可能）

#### ○地域工務店のデザイン力と設計力の向上研修（実践編）【継続】

地域工務店のデザイン力と設計力を強化するため、設計者等を対象に講習会を開催します。開催地：全国数カ所所以对面開催

#### ○工務店視察研修会【継続】

各委員会が行う視察研修会を主として、会員の中で設計・営業・性能育・大工育成等に優れた工務店を視察し、学ぶ研修会を開催します。開催形式：対面開催

### 施工力強化のための研修会

改正建築基準法による検査強化への対応が必要であり、写真管理や施工チェックの体制強化を目的とした研修の導入を検討します。

### リフォーム・リノベーションの受注・技術力強化促進のための研修会

#### ○リノベーションセミナーの実施【継続】

リノベーションへ継続的に取り組むため、成功事例を持つ先進的な工務店を講師に招き、事例研究を行いながら知識やノウハウを習得する研修会を開催します。開催形式：対面開催

### 非住宅建築物受注強化のための研修会

#### ○非住宅受注で成果を上げている工務店を招き、事例研究方式でノウハウを学ぶ研修会を実施【継続】

提案・設計・施工を一貫して行う受注形態および、設計事務所と連携して施工のみを受注する方法を学びます。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○中大規模木造建築物の施工管理研修会【継続】

地域工務店が取り組む木造建築物について、取り組み方や施工管理などを説明したマニュアルを用いた研修会を実施します。開催形式：Web開催（Zoom）

### 大工育成のための研修会

#### ○規矩術指導者講習会【継続】

大工技能で重要な規矩術について、指導者となる方を対象とした講習会を開催します。開催地：全国数カ所

#### ○登録基幹技能者講習会【建築大工】【継続】

熟達した作業能力と豊富な知識を持ち、現場をまとめ効率的に作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者で、専門工事業団体の資格認定を受けた者が登録機関技能者となります。JBNは運営団体として、全国数カ所その他団体と共催により講習会を開催します。開催日時/場所：全国数カ所 講習時間：2日間11時間講習（対面開催のみ）

### 働き方改革等の研修会

#### ○地域工務店のカスタマーハラスメント対策働き方改革・労務管理・就業規則づくりセミナー【継続】

地域工務店が取り組む必要がある働き方改革、労使トラブル対応や就業規則の整備、求人票作成、給与の決定・評価、建設現場での労務管理等のレベルアップを目指すセミナーを開催します。また、カスタマーハラスメントについても学びます。開催形式：Web開催（Zoom）

### 空き家・不動産関連の研修会

#### ○地域工務店による空き家利活用事例セミナー【継続】

地域に根ざした工務店が実践する空き家の再生・活用例を紹介し、法規制や補助金の活用方法、収益性の確保、地域貢献の視点から成功事例を学び、具体的な手法を習得するセミナーです。開催形式：Web開催（Zoom）

#### ○一から学ぶ工務店と不動産セミナー【継続】

地域工務店が直面する空き家の活用や施主宅の売却サポートには、不動産の知識が欠かせません。本セミナーでは、不動産取引の基本から実務に活かせるポイントまで、専門用語を含めゼロから学べる内容とし、工務店目線で不動産知識を身につけるためのセミナーを実施します。開催形式：Web開催（Zoom）

## 工務店紹介

Introduction of construction companies

### 住宅と非住宅・公共事業の両輪で地域を支える

鳥取市にある、1976年設立の株式会社ジューケン。今年設立50年を迎え、現在の従業員は約40名。住宅事業と非住宅・公共事業の売上がほぼ半々と、地域工務店としては珍しい事業構成となっています。

住宅事業では、鳥取県産材を活用したオリジナル住宅「LIV BOX」と、パナソニックの耐震工法「テクノストラクチャー」を採用した住まいづくりを展開。特にLIV BOXは、32坪・4LDKを基本サイズにしなが、社内の設計スタッフが提案する自由度の高いプランが支持を集めています。

「高品質でデザイン的にも優れた“良い家”をつくるのは、あくまで最低限の前提です。私たちが大事にしているのは、その先のお施主様との関係づくりです」と話す代表の加藤さん。

同社では専属のメンテナンススタッフを社内に配置し、住宅履歴情報の管理や定期点検体制を整備しています。手厚いアフターフォローが評判を呼び、OBからの紹介が受注の約3割になるなど、建てた後の継続的な関係構築が地域での信頼獲得につながっています。

また非住宅事業では、商業施設のほか図書館や学校、警察署など、公共建築物も数多く手掛けています。

「お施主様からは、“あの建物もジューケンさんが建てたんだね”と言ってい



▲同社の施工例。施主の希望を反映した、「暮らしやすさ」にこだわった設計に定評がある。

## 住宅と非住宅・公共事業を両立 全木協鳥取県協会の設立にも尽力

株式会社 ジューケン

加藤 辰宏 社長



ただくこともあります。住宅と公共事業はまったく別の仕事ですが、『地域の皆さんのため』という根幹は同じです。地域の建物に関わっていることが、私たちの強みでもあり、同時に責任でもあると思っています」と加藤さん。住宅と公共建築の双方に携わることで、地域の暮らしを総合的に支える企業となっています。

### 全木協鳥取県協会会長として地域連携を強化

昨年、鳥取県では全木協（全国木造建設事業協会）と災害協定を締結。これを契機に、全木協鳥取県協会が設立され、加藤さんが同協会の会長に就任しました。

鳥取県では、10年ほど前にJBN以外の別団体と木造応急仮設の建設に関する協定を結んでおり、全木協との協定締結は遅れていました。しかし、全木協が熊本地震や能登半島地震など、各地の災害対応で実績を積み重ねてきたことが後押しとなり、今回の協定締結に至りました。

全木協の木造応急仮設住宅は、住宅支援だけでなく、被災地の経済・雇用の改善という大きな役割を担っている点が評価されています。ただし、公共事業的な側面もあるため、住宅をメインに手掛けている企業では対応が難しい場面も想定されます。

ジューケンでは、これまで公共事業

に多く携わってきた経験を生かしなが、ら、応急仮設住宅建設における地域工務店の連携強化に注力する考えです。

加藤さんは、「協会の設立によって、これまではライバルだった地元の工務店同士が、災害時の地域を守るという目的で協力し合う関係が生まれました。こうした新しいつながりが生まれているのは、とても意義があることだと思います」と話し、地域一丸での体制づくりに意欲をのぞかせます。

### 住宅ストック時代を見据え リフォーム事業を強化

今後ジューケンとして力を入れたいと話すのは、リフォーム分野の強化。住宅ストック時代を迎える中で、小規模修繕からフルリノベーション、さらには買取再販まで幅広い事業展開を視野に入れ、専門部門を新たに立ち上げました。

さらに県西部への対応を強化するため、今年夏頃には米子市に新拠点の開設を予定。これにより、県内全域をカバーする体制を整えていく方針です。

「当社が50年続けてこられたのは、地域の方々から信頼をいただいていたからこそ。その信頼を裏切らないことが、ジューケンの価値だと思っています」

住宅から公共建築まで幅広く手掛けながら、町の暮らしを支える建物をつくり続けること。それこそが、当社が目指す地域密着型企業の姿です。

### 【企業データ】

会社所在地	鳥取県鳥取市
設立年	1976年
従業員数	40名
年間新築着工棟数	34棟 (2025年受注ベース)
売上構成比	住宅5：非住宅5 (住宅は新築8：リフォーム2)